

～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

農学部・研究科 畜産草地科学科・課程・専攻 3年（番上将也）

○派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

○派遣期間： 2016年 2月 17日 ～ 2016年 3月 19日

○渡航時の学年： 3年次

○渡日前の手續について

・参加に至った経緯について：

英語の語学留学に以前より関心があり、春休みの留学先に悩んでいた際に丁度、大学で本留学の募集がかかっていたことを知ったためです。また、前回の留学に参加した友人の話聞き興味を持ったことも参加を決意した理由の一つです。

・渡航に関する手續について：

日本国内線の飛行機の予約、パスポートの取得、帰りのホテルの予約等は自分で行いました。保険に関しては留学のプログラム自体に含まれていました。それ以外の手続き(国際線、留学の申し込み、ホストファミリーの手配等)は国際連携センターの方にさせていただきました。

・査証取得：

なし

★体験記：

○生活費：

渡航費用：成田-ダニーデン往復：268,460円

生活費：交通費、食費、娯楽費等：約110,000円

○ホームステイ先の環境：

鍵付きの部屋を使わせてもらえました。ベッド、デスク、クローゼット等必要なものは備わっていました。また洗濯も必要な時にはいつでもしてもらえました。家族構成はホストマザーに子どもが2人でした。

○大学のサポート状況：

国際連携センターの方がほとんどの手続きを行ってくださいました。またランゲージセンターの方々もわからないことや授業に関すること等について親切に教えてくださいました。

○授業の様子：

授業はリスニング、ライティング、スピーキング、単語の学習の一般英語のクラスその他、TOEICやIELTSのクラスもありました。ディスカッション等のグループワークに加え、スピーチや週初めのテストなども行われました。授業中は発言することが多く、積極的な授業態度が求められました。

～宮大生のための海外渡航～

○他の留学生たちの様子:

春休みということもあってか、日本人の留学生が非常に多かったです。その次に中国人、タイ人、サウジアラビア人とアジア系の留学生がほとんどでした。非常に親切な人たちが多く、すぐに打ち解けることができました。

○現地学生との交流:

私のホームステイ先には私以外にもオタゴ大学に通っているサウジアラビア人の学生が2人いたので、日本との文化の違いや、ダニーデインの名所などについても教えてくれました。ランゲージセンターに通っているだけでは現地学生との交流は難しいかもしれませんが、様々なアクティビティやイベントに参加すれば可能だと思います。

○街の様子:

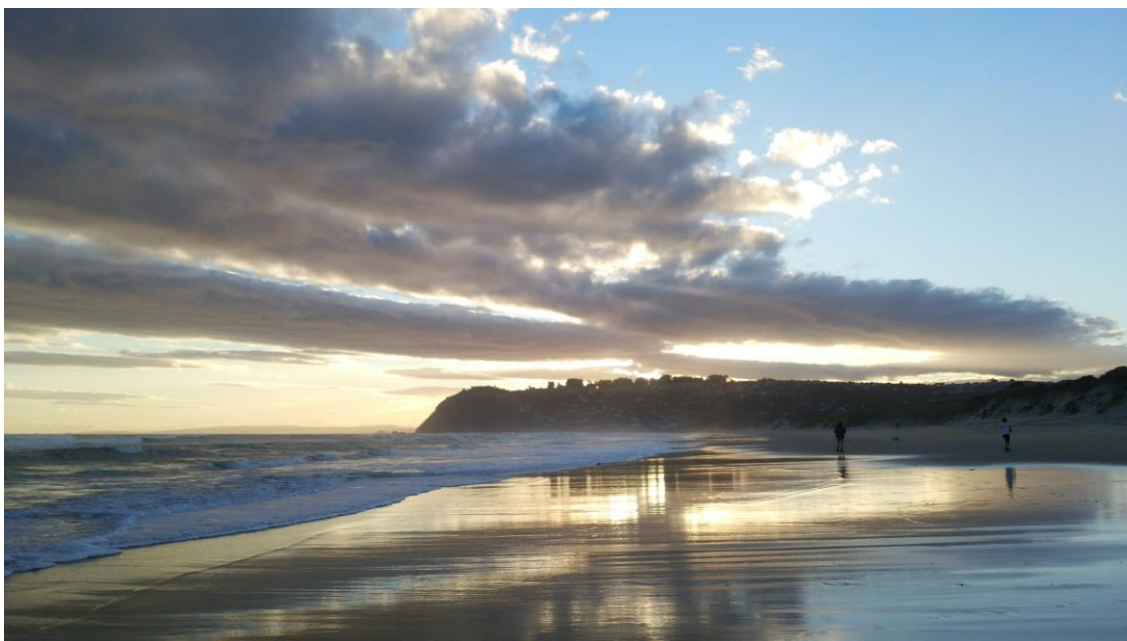
ランゲージセンターまでは基本的にバスで通学していました。大学から歩いて行ける距離にダウンタウンがありそこで買い物や食事はとることができます。しかしバスの乗り方に慣れるのには少々時間がかかりました。また平日はバスの本数が多いが、休日になると本数が減ったり、運行していなかったりと注意が必要でした。

○その他:

お店での支払いなどはカードが主流であり、多額の現金は持ち歩くべきではないと思います。またダニーデインの天候は非常に変化しやすいため、すぐに着脱できるような服装が望ましいと思いました。コンセントプラグも日本とは異なるので変換器を持っていく必要がありました。

○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

オタゴ大学ランゲージセンターへの留学に限らず、その他の国や語学学校の留学に興味・関心がある方は是非行くべきだと思います。私は今回の留学を通しての海外の人から見た日本の印象や他国の人々の人間性や国民性を知ることができました。また自分が日本のことについて知っているようで知ってなかったことにも気づかされました。これから留学される方は英語の勉強に加えて、日本について勉強もすることを勧めます。そうすればより相手との話も弾み、より良い留学生活を送ることができるのではないかと思います。



～宮大生のための海外渡航～

